

**第一鳥取丸による1月の海洋観測は実施して  
いないため、広域水温分布図はありません。**

**水産振興課・漁業調整課**

**第24回水産研究・実践活動報告会を開催します**

浜の活性化に向けた活動や水産分野における自主的取り組みの輪を広げ、調査・研究の成果を県内に幅広く普及することを目的に、本報告会を以下のとおり開催しますので、ぜひご参加ください。

日時:令和6年2月2日(金) 13時30分から16時30分まで  
場所:新日本海新聞社中部本社ホール(倉吉市上井町1丁目156番地)  
内容:漁業者、県水産関係者等による水産分野の活動報告等

- 1 脂質測定を用いたサワラ付加価値化への取り組み**  
鳥取県漁業協同組合中支所 漁業者 松井 俊樹
- 2 ウニ集中駆除の効果検証～漁師たちの疑問に答える～**  
鳥取県立青谷高等学校 3年 倭島 悠斗・野田 心元  
鳥取県漁業協同組合本所 漁政指導課 古田 晋平  
栽培漁業センター 増殖推進室 研究員 武坂 亮
- 3 大谷海岸におけるムラサキウニ駆除活動の効果把握の試み**  
公立鳥取環境大学環境学部環境学科 4年 吉中 里沙・准教授 太田 太郎
- 4 水中ドローン及び練習船「若鳥丸」を用いた海洋調査**  
鳥取県立境港総合技術高等学校 海洋科 3年 粟村 航太・白石 琉偉  
2年 内 心勇・1年 河本 蓮友
- 5 日本海西南部鳥取県沿岸で漁獲されるマアジの産卵期と成長**  
鳥取県栽培漁業センター 増殖推進室 室長 尾田 昌紀
- 6 浦富定置網におけるマアジ幼魚の加入実態**  
公立鳥取環境大学環境学部環境学科 4年 中川 孝紀・准教授 太田 太郎
- 7 おさかなパークと直売センターで交流人口増加**  
境港水産事務所 水産技師 高橋 龍ノ介
- 8 県からのお知らせ「海業の推進について」**  
鳥取県水産振興課

担当:足立、門脇 ☎0857-26-7317

**境港水産事務所**

**境漁港の令和5年の水揚金額が  
27年ぶりに245億円を突破しました！**

境漁港の令和5年の水揚金額は約245億円で、27年ぶりに240億円を上回りました。また、水揚量は6年ぶりに12万トンを上回りました。全国順位は水揚量で3位(前年4位)、水揚金額で5位(同5位)となり、全国でもトップレベルの値を記録しました。まき網漁業によるマイワシやマサバの豊漁が水揚量、金額の向上に貢献しました。

国の資源評価ではマイワシ資源は今後も増加する見込みであり、境漁港における更なる豊漁が期待されます。



水揚金額245億円突破を祝い、おさかなパークに横断幕を設置しました。

順位	漁港名	金額(千円)
1	焼津	50,855,134
2	博多	48,441,273
3	長崎	33,617,157
4	銚子	27,281,033
5	境	24,532,585

順位	漁港名	水揚量(トン)
1	釧路	189,416
2	銚子	188,965
3	境	120,108
4	焼津	118,955
5	長崎	110,071

ランキングの数値は(一社)境港水産振興協会調べ

**募集中** 水産試験場で、会計年度任用職員さん(調査・研究補助員)を随時募集中です。詳しくはQRコードから

令和5年4月から下記2社の広告を1年間掲載することになりました。

いつの時代も、技術とサービスをもって水産業・漁業の皆様を支援してまいります

**西日本ニチモウ株式会社**

本社 山口県下関市小月小島2丁目3-17 750-1136  
電話 083-282-4041(代表) FAX 083-282-0424  
境港営業所 鳥取県境港市栄町67番地 7684-0006 電話 0859-44-0475 FAX 0859-42-6330

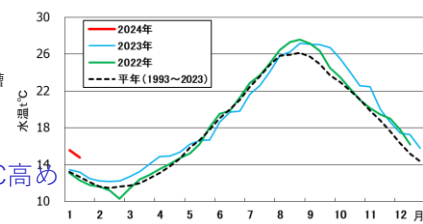


**鳥取沿岸の水温**

鳥取県栽培漁業センター 沈砂槽

(電話:0858-34-3321)

1月中旬 14.8℃より  
8年より 2.2℃高め



**水産試験場**

**漁船からの潮流情報提供システムの試験運用を始めました**

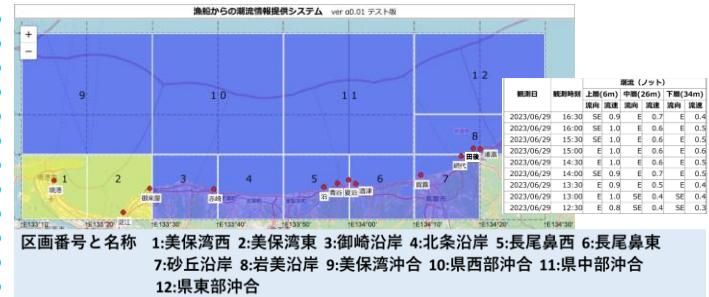
**○漁船からの潮流情報提供システムとは？**

承諾頂いた協力漁船を対象に、潮流計で観測した潮流情報(流速・流向)を無線機を経由して収集し、ほぼリアルタイムに漁業者の皆さんに提供するシステムです。  
・令和6年1月現在、県内漁船計29隻が観測協力中。  
・とりまとめ、解析処理後の情報が提供・公開され、協力漁船の詳細な操業位置や時間は公開されない。  
・観測協力漁船が出漁していれば、御崎・酒津沖(沿岸潮流観測ブイ設置域)以外の潮流情報も見られる。

令和6年1月から試験運用を開始し、既存の潮流情報自動提供システムの利用登録済の漁業者の方は、追加申請・設定なしで利用出来ます(ホームページ、メール、電話※1)。  
※1:申し訳ありませんが、現在、潮流情報自動提供システムの電話応答機能に不具合が発生(1/11)、利用出来ません。

**ホームページで見る方法**

1. 潮流情報自動提供システム(<http://choryu.ec-net.jp/index.html>)の会員を選択
2. 登録したIDとパスワードを入力
3. 漁船からの潮流情報を選択
4. 見たい区画(下図参照)を選択すると、30分毎の流向・流速が閲覧できます  
直近30分以内にデータが更新された区画が黄色に変化  
(メール・電話でも、ブイの観測情報後に、区画毎の潮流情報が閲覧・聞取できます)



試験運用は令和6年2月9日まで※2とし、それまでに利用していただき要望・感想を下記の担当までお聞かせ下さい。可能な限り要望を反映したシステム改修を行い、令和6年4月から本格的に運用開始する予定です。

※2:期日以降も要望いただけますが、システムの改修には反映出来ません

水産試験場 担当:藤岡・前田、電話:0859-45-4500、メール:fujioakahi@pref.tottori.jp

**栽培漁業センター**

**青谷高校の学生がウニ駆除試験を実施**

青谷高校の3年生と共同で、長和瀬漁港の斜路の区画(90m)にてウニを6～9月まで徹底駆除した後、11月下旬に経過観察する試験を行いました(図1)。

11月下旬の駆除区は非駆除区に比べて海藻が萌えており、海藻の種類は潮間帯ではアサギ類、潮下帯では小型紅藻類とウミトナオが優占していました。また、駆除69日後に試験区のムラサキウニを採取し総重量を比較した結果、駆除区は非駆除区の3割程度であり、駆除効果が継続していました(図3)。駆除効果が継続している理由として、周囲からウニがほとんど侵入していないことが考えられます。

本試験の詳細な結果は、第24回水産研究・実践活動報告会(2/2(金)開催)にて青谷高校の学生が報告してくれる予定です。是非ご参加ください。



図1 試験の様子

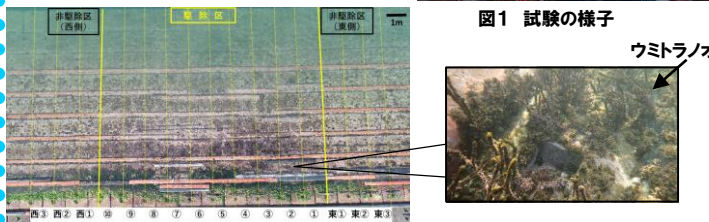


図2 11月下旬の駆除区上空撮写真と駆除区内の藻場

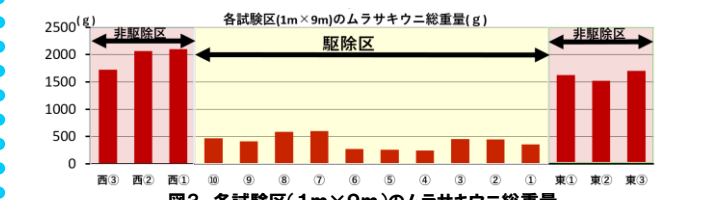


図3 各試験区(1m×9m)のムラサキウニ総重量

**潮に夢を** 共和水産株式会社  
代表取締役 橋津 寛  
〒684-0006 鳥取県境港市栄町65番地  
TEL:0859-44-7171(代) FAX 0859-42-6530